

イネの生育（一生：田植えから稲刈りまで）の概略を解説する

移植期・活着期

分けつ期 (tillering stage)

- ・分けつ (tiller) とはイネ科作物の分枝 (branch)
- ・分けつ数 (茎数ともいう) は一般に、増加して最高値に達した後、減少して一定値に落ちつく
分けつ数が増減する時期 (分けつ期) はいくつかの時期に分けられる
- ・分けつが増えることの生産性へのプラス面
- ・分けつが増えることの生産性へのマイナス面

イネでは一つの分けつに一つの穂がつく。穂に籾がつくのとから、分けつの増減の過程は、籾の数、ひいては収量に大きな影響を与える重要な過程

有効分けつ (productive tiller) と無効分けつ (non-productive tiller)

すべての分けつに穂がつく訳ではない...

穂をつけるか、つけないで無駄になってしまうかの分かれ道はなに？

幼穂分化期 panicle initiation stage

幼穂形成期 panicle formation stage

} 穂の元ができて生長していく時期

出穂期 (穂 (ear) が葉鞘の外部に出ること) heading stage

登熟期 ripening stage, grain filling stage

- ・籾にデンプンが蓄積される時期
米が実るにはどれくらいの日数かかる？

成熟期 maturing stage

刈り取り適期とは、刈り取り時期の目安

収量構成要素

作物の収量は、いくつかの要素のかけ算によって成立するという考え方。

例えば、会社の収益 = セールスマンの数 × 顧客の数 × 商品価格 × 収益率 というような感じ

会社の収益を向上するにはどの要素を増やせばよいか、と考えるように、収量構成要素は、収量のコントロールを図る上で重要な見方

イネ科穀類の収量構成要素

マメ類の収量構成要素

収量構成要素は生長過程でどのような順番で決定していくのか